

## 「練馬区福祉のまちづくり総合計画（平成18～22年度）」の進捗状況

### ■推進事業

推進事業	事業内容	22年度末の目標値	現況
①福祉のまちづくり200人モニター	福祉のまちづくりモニターを設け、施設やサービスの計画の段階から「使う人の視点」を取り入れる。	延べ1,000名	延516名
②福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援	区民が自ら主体となって発意し、行政をパートナーとして実施する企画提案を募集し、支援する。	延べ50団体	延77団体
③福祉のまちづくりを推進する区民協議会	区民等による協議会を設置し、福祉のまちづくり総合計画の検証等を行い、施策・事業に反映させる。	実施	毎年2～3回程度開催

### ■12のアクションプラン

アクションプラン	事業内容	18～22年度末の目標値	現況
①安心して歩ける道をつくりまします	福祉のまちづくり200人モニターからの情報提供をもとに交差点の整備・改良を行なう。	5年間で延べ100箇所整備（年間20箇所）	情報提供165件 7件 整備実施 7件 対応済 14件 今後検討 88件 他機関へ要望
②より魅力的に、より安心して使え、より楽しめる公園をつくりまします	区民参加ワークショップを通じて、「使いやすい公園」としてモデル公園を整備する。	モデル公園整備1箇所 順次拡大	平成22年4月 豊玉公園 （通称：たこ公園）開園
③スムーズな乗り換えの実現を目指します	鉄道とバス・タクシーなどの相互の乗り換えに際して、よりわかりやすい案内方法を検討する。	2駅	2駅（石神井公園、江古田駅）を整備中
④放置自転車をなくして、歩行者と自転車の共存を目指します	モデル商店街の指定し、商店街と連携した放置自転車対策を検討・実施する。	モデル商店街1箇所からの展開	モデル商店街（東大泉仲町商店会）において協議継続 ※駅周辺における自転車誘導員の増員、放置自転車の撤去強化（土日撤去、連日撤去）、放置自転車クリーンキャンペーンの実施
⑤既存建築物バリアフリーアドバイスの仕組みをつくりまします	区立施設の大規模改修にあわせて、200人モニター等からの意見聴取し、実施設計に反映させる。	大規模改修施設1件	2件実施（石神井台敬老館、大泉西出張所併設南大泉地域集会所） ※新築区立施設の区民意見聴取の義務化（福まち条例）

⑥建物トータルマネジメントマニュアルを作成します	建物を活かす管理・運営計画および障害者・高齢者等の対応マニュアルを作成する。	個別マニュアルの普及同講習会等の実施 5年間延べ10,000部	建物サインづくりマニュアル(H18) 建物利用ガイドづくりマニュアル(H19) ユニバーサルデザインイベントマニュアル(H20) バリアフリー維持管理マニュアル(H21) 職員研修の開催(年2回)
⑦まちぐるみでバリアフリーの推進に取り組みます	商店街と駅周辺のまちづくりとを絡めて重点的に整備を推進する。	1地域	1地域：中村橋駅周辺交通バリアフリー基本構想に基づき整備
⑧出会いと学びの場を支援します	教育プログラム企画の検討方法や講師派遣のコーディネート等を支援する仕組みを検討する。	実施	練馬まつりで「バリア体験」教室の支援 「小学生ユニバーサルデザイン体験教室」を実施 区民活動支援事業で普及啓発・学び活動助成を実施
⑨身近な地域における生活情報やルールに関する情報が共有できる仕組みをつくります	情報入手困難者に必要な情報を届ける方法を取りまとめ普及させる。	公式ホームページのリニューアル 外国語版便利帳の作成	公式ホームページのリニューアル 外国語版便利帳「練馬暮らしガイド」の作成
⑩みんながうれしいハートフルなお店を増やします	障害者、高齢者、子育て中の方などが地域の商店街を安心して利用できるプランを、区民と商店会と協働で作成する。	実施	街路灯建替え事業1商店会 商店街活性化計画の策定支援 2商店会(南大泉商愛会、石神井公園商店街振興組合)
⑪いざというときにも安心できるための準備を進めます	地域で行う避難拠点訓練への要援護者の参加を促進する。	実施	毎年、各地において災害要援護者が参加する防災訓練を実施
⑫身近な地域単位の人々から外出情報を発信します	電車、バス、タクシー、福祉タクシー、移送サービス等、身近な移動手段の運行情報やバリアフリー情報を収集し、情報発信する活動を行なうNPO等を支援する。	NPO等との協働1件	「おでかけハンドブック」配布 ケアマネージャー等への情報提供